2021.10.27

TOKYOテレワークアワード大賞受賞

ニューノーマル時代の 持続可能な新しい働き方

代表取締役社長 永田豊志



目次

- ① 会社概要と事業のご紹介
- ② リモートワーク率95%への道
- ③ 実践!リモートワーク実現のための各種サービス活用
- 4 危機をチャンスととらえよ



①会社概要と事業のご紹介



会社概要



会社名: 株式会社ショーケース

代表: 永田 豊志

住所: 東京都港区六本木1-9-9

上場市場: 東証一部(証券コード:3909)

設立: 1996年2月1日

社員数: 100名 ※正社員 87名(2020年12月末時点)

事業内容: ① SaaS事業 (eKYC、オンライン手続き)

- ② 広告・メディア事業
- ③ クラウド インテグレーション事業 (DX支援開発)
- ④ 投資関連事業 (Showcase Capital 100%子会社)

ビジネスコンセプト



ショーケースの社会への価値提供

企業と顧客のオンライン手続きに、最高のデジタル体験と安全を提供

入力が面倒、 使いづらい インターフェース

文書の郵送・ 手作業

なりすまし・不正



「おもてなしテクノロジー」で 社会の「不」を解消 自動アシストで 入力カンタン

ドキュメント

アップロード・

自動処理

本人確認オンライン認証





企業と顧客をつなぐフロント = Webサイトの分析・改善







導入フォーム数

5,000超







非対面取引に欠かせない本人確認をオンラインで!オンライン完結の強み味方

*****electronic Know Your Customer

オンライン本人確認/eKYC







<社会課題や社会潮流>

- 口座不正利用問題
- デジタル庁の発足
- オンライン化、非対面取引の拡大
- マイナンバーカードの民間利用促進
- マネーロンダリング防止



【主な導入企業】













②リモートワーク率95%への道



リモートワーク率95%実現までの推移

2月25日

新型コロナウイルスをめぐる主な動き

年	月/日	出来事		
2019	12月	中国の湖北省・武漢市で原因不明の肺炎患者確認		
2020	1月16日	国内初の感染者を発表		
	2月5日	「ダイヤモンド・プリンセス号」横浜沖で14日間の ← 船上隔離開始		
	2月13日	国内初の死者確認、感染経路不明の事例相次ぐ		
	2月27日	首相が全国の学校に臨時休校を要請		
	3月12日	WHOが世界の流行状況を「パンデミック」認定		
	3月25日	東京・小池知事が緊急会見週末の外出自粛を要請		
	4月3日	世界の感染者100万人突破		
	4月7日	政府が緊急事態宣言を発出 (7都府県対象に5月6日まで)		
	4月16日	政府が緊急事態宣言を全国に拡大		
	4月18日	国内感染者1万人突破		
	5月4日	政府の緊急事態宣言 5月31日までの延長を決定		
	5月31日	政府の緊急事態宣言の延長期限		

2月5日

フルフレックス制 リモート20へ移行 リモートワーク率数%

4月1日

原則出社禁止 リモートワーク率95%以上

画像: Yahoo The Pageより引用

フルリモートへ移行

くリモート対象外>

・デスクトップ利用者

•管理職

リモートワーク率30%

•業務委託、派遣社員、新入社員



リモートワークの基本方針

おもてなしテクノロジー

<基本方針>

当社のコアバリューである「おもてなしテクノロジー」で従業員が安全・安心に働ける環境とルールづくりを行う。 あらゆる技術を駆使し、組み合わせ、創意工夫によって、

オフィスと変わらぬ働く環境を自宅に再現する!



リモートワーク移行の鍵はトップのコミット

できない理由を探せば、キリがない

やること前提で、フルスピードで、必要なものを創るリーダーシップが重要



リモートワークで、人はサボるのか?生産性はどうなるのか?

→結果:よったくの杞憂だった

- ・顔が見えないから、成果を出さないと存在価値をアピールできない
- ・むしろ、従来通勤に使っていた時間も労働する傾向にあり、残業が増えがち
- ・ムダな会議や通勤時間がなくなり、生産性は高まっているように見える。ただし、、、、





リモートワークで、人はサボるのか?生産性はどうなるのか?

→ 前提:事業戦略にリンクする個人目標が設定されていること

- ・個人のコミットメント、定量的に計測できる目標が設定され、管理されている
- ・個人の目標は部門の目標へ。部門の目標は全社の目標へリンクしていること
- ・全員が全社の達成すべきビジョン、戦略、部門の責任や役割を理解していること





ショーケースの「フライトプラン」全社の目標と個人の目標を可視化



2月末、プロジェクト承認。詳細スケジュー

成果を上げる仕組みを作る。」 適期:「プロジェクトを立ち上げて要件定義 の要件設計ができていたら

難易度高い而もあると思いますが、 非効率性

できるところから実装をお願いします

③実践!リモートワーク実現のための 各種サービス活用



通信環境とセキュリティ



意外と自宅にインターネット 回線がない人が多いことが判明 モバイルWi-Fiを貸与、業務 に応じて複数提供も



デスクトップ派に対しては ノートPCを貸与 コストではなく、働き方改革 への先行投資



概ね、業務に必要なものは クラウド化されているが、社内 システムに入るためにはVPN 接続 また、情報セキュリティ研修な どを再度徹底(自宅におけ るインサイダー防止など)



自宅=作業場、としての環境整備するため「リモートワーク手当」新設







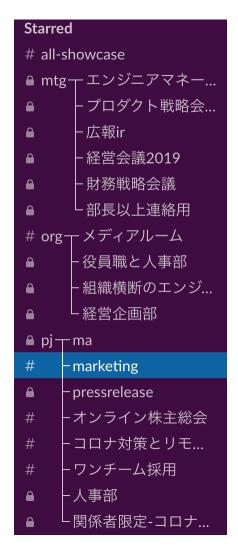
リモートワーク手当2万円を毎月継続支給

使途は自由

各自が心地よく過ごせる労働 環境に必要なものを選択して もらう

任意でSNSでシェアしてもらい、 ブランディングにも一役!

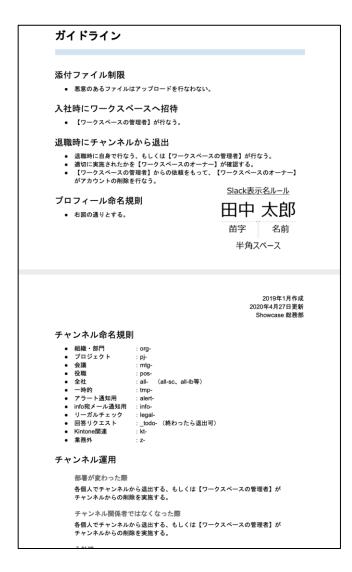
社内コミュニケーション(チャット)





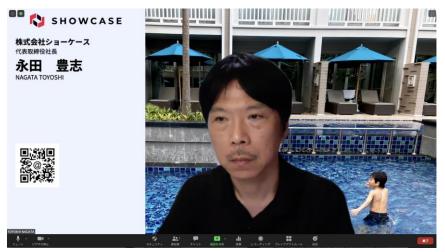
社内コミュニケーションの起点を「Slack」に集約ドキュメント類は「Google Workspace」を利用

情報の錯綜防止、見える化のため、利用ガイドラインを独自作成し徹底





社内・社外コミュニケーション(ビデオ会議)



顧客によってあらゆる**ビデオ会議**に対応できるよう様々なサービスを契約

Whereby

zoom







エンジニアが作ってくれた オリジナルの**背景名刺作成ソフト**



音声には当初、ずいぶん苦労した。 特に大会議室とリモートワークの混在時。い ろんな利用方法に合わせてリハーサルを重ね る。結果的にYAMAHAのスピーカーフォンに 落ち着く

安否、勤怠、従業員コンディションの管理





■安否確認

- 毎朝、全従業員は家族も含めた健康状態を「安否確認サービス」で報告
- 管理画面で集計結果を日次確認

■勤怠管理

- 「ジョブカン」を利用
- 従来は入退室時のタッチカードだったが、リモートワーク中はslackからオンラインで打刻に変更



■業務進捗やストレスの定点観測

- 目標に対する進捗を朝会、夕会など で頻繁に確認
- 新人などは教育チャンネルなどでフォ ロー
- 「FFS」(ヒューマンロジック研究所提供)によるストレス診断の定時計測



紙とハンコをなくす



■稟議・支払い確認

承認に関するものは紙から、 すべて「X-point」による電 子承認へ



■請求

ショーケースからの請求書は、 自社開発の「インボイスクラ ウド」からPDFでお客様へ送 付



■契約書

- 社外との契約書は可能な限り、電子押印(E-stamp)で実施
- 法務と連携して推進策・運用 ルールを作成



■郵送物

- 輪番担当制で、郵送物の 写真を「Slack」で共有
 - 確認が必要なものを各自が 対応



情報セキュリティ

■ファイル送受信

- 顧客とのセキュアなファイル送受信
- 送付したファイルに固有のパスワードを生成・付与
- 「HENNGE Secure Transfer」



■標的型訓練メール

• HENNGE社の協力のもと、セキュリティ啓発を目的に、ダミーの標的型攻撃メールを社内に送付





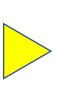
電話をなくす

自宅で突然の顧客からの電話をとらなければならない心理的負担を軽減するため、 折り返し式に。



①一次受電は、電話代行 サービスで「fondesk」







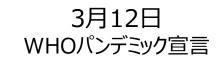
③担当者が社用携帯 から折り返し連絡



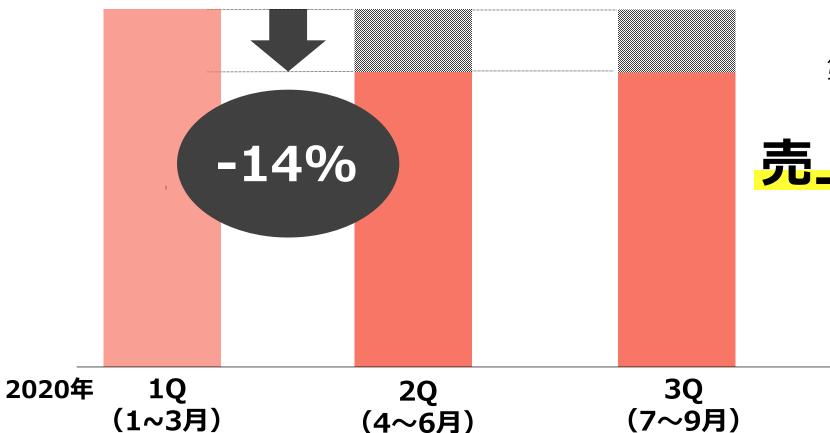
4 危機をチャンスととらえよ



危機:1回目の緊急事態宣言から主力事業部門の売上が大幅減!





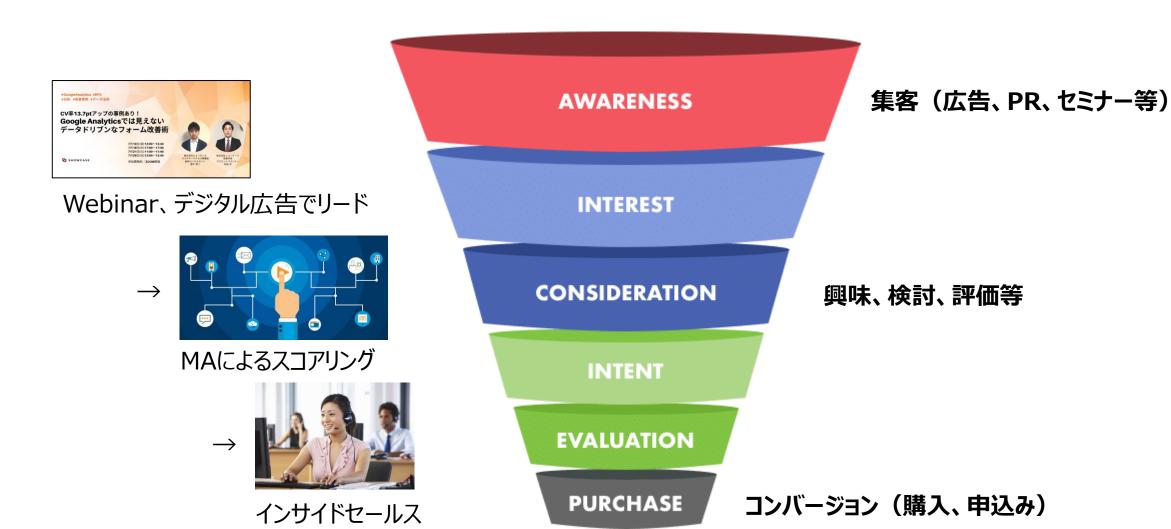


第1四半期→第2・第3四半期

売上高 -14%大幅減

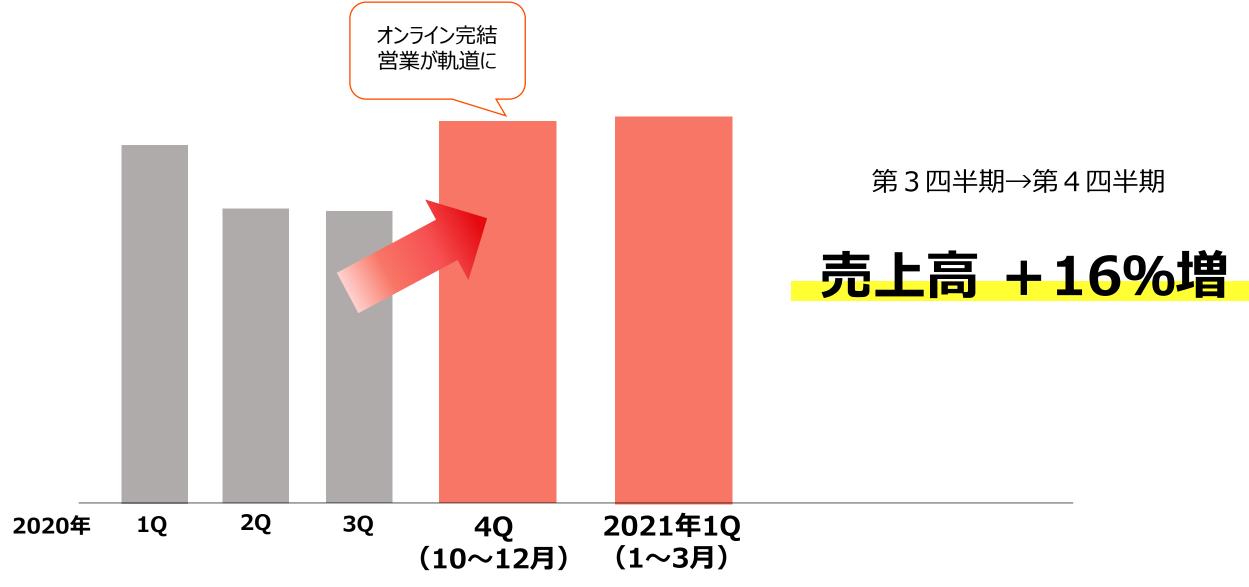


1回目の緊急事態宣言から売上が大幅減。オンラインに切り替え!



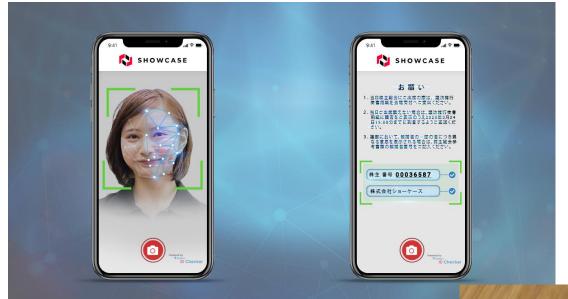


オンライン完結営業が軌道にのり、売上が例年以上に復調



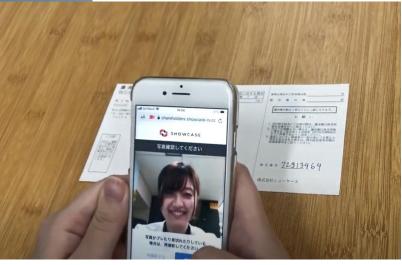


バーチャル株主総会(リアル+リモートのハイブリッド型)



リアル会場+オンライン視聴の ハイブリッド型バーチャル株主総会を開催

株主の本人確認には、オンライン本人確認/eKYC ツール「ProTech ID Checker」を活用 本人容貌と議決権行使書で認証されたユーザだけが 視聴できる仕組み



地方の株主や移動に不安な 株主から高い評価

採用、面談、入社式、研修のリモート化

■新入社員対応

入社式は新入社員含め全社員がリモート参加 入社後もオンラインで教育継続



■地方在住の優秀なエンジニアを獲得

面接・選考・勤務すべてがフルリモート 都内の給与水準で、地方在住型ワークを実現 2021年8月より既存社員にもフルリモートワークを適用





やって分かった、オフィスワークvsリモートワーク

	オフィス	リモート
【Pros】 良い点	直接的交流によるモチベーション維持偶発的アイデアの発展、リスク発見オンオフの切り替え	ワークライフバランスの向上作業などへの没入、集中労働時間ではなく、より成果を評価
【Cons】 悪い点	・ 通勤ストレスと時間効率の悪さ・ 感染リスク・ 家賃など物理スペースのコスト	・ 孤独によるメンタル不全・ リスクマネジメント・ 自走できないメンバーの教育や管理



ショーケースの「With/Afterコロナの新しい働き方」

オフィスとリモートワークの良いとこ取り!

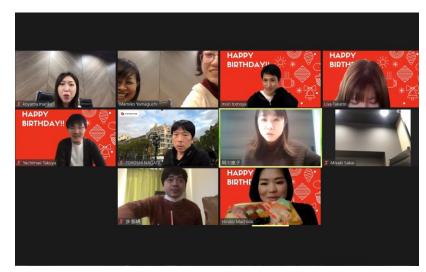
	メインはリモートDay (80%)	オフィスDay (20%)
目的	・業務成果、作業成果を生み出す時間・プロジェクトの進捗確認・メンバーへの課題提供とその実行	 ・未来についてディスカッションする時間 ・1 on 1など精神的安心感を必要とする場 ・経験の浅いメンバーの教育やアドバイス



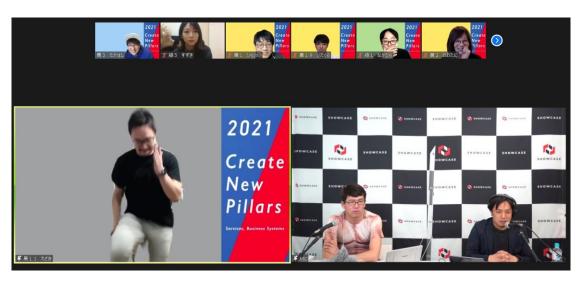
オンラインイベント(気持ちの空白を埋め、エンゲージメントを高める)



「オンラインランチ会」 NHK「サラメシ」で放送



「オンラインバースデーパーティー会」毎月違う従業員が主役になれる



「オンライン運動会」 NHK「ニュース シブ5時」で放送



「社内勉強会」 組織内の"トランザクティブ・メモリー"を活性化

まとめ: Afterコロナの持続的な働き方とは?

・本来の「生産性」に根ざしたマネジメントへ

(国際競争力を取り戻すチャンス)

・企業の戦略やビジョンと個人のビジョンを合わせる

(当社はフライトプランで可視化)

働きがい=評価+成長

(チャレンジングな目標設定と納得できる達成管理がセット!)

